

学 習 日 誌

9月30日(金)	講 師	あすなる会会長、副会長	
出席者数	105名	記 録 者	6年8班 山口 眞介
講 座 名	班活動2「新しい協働体制、ジャンル別グループ」		
プログラム担当者	あすなる会		
時 間・場 所	10時～12時 7班～12班 13時半～15時半 1班～6班、第一集会室にて		

【学習内容】

1・連絡事項

- ① 岡田館長・・・文化祭の応援お礼と再依頼・10/6 模擬店説明会の案内
- ② 大村副会長・・・「あすなる運動会」の参加呼びかけとメンバー表提出依頼
- ③ 大学展委員・・・「発表申請書」の提出依頼
- ④ 郷土学習講座の案内(岩宮氏)・・・11/25
- ⑤ 榎本指導員・・・「あすなる通信3号」発行と欠席者への配信依頼及び郵送の案内

2・新しい協働体制について

- ① これまでの経緯・・・成嶋副会長
2017年度の「館提案」～(2019,2020は休止)現在に至るまで時系列で説明。
- ② 第2次提案の説明・・・進藤会長
館会分離案から再び協働へ。あすなる大学には卒業が無く、あすなる会員は継続して受講できる。あすなる大学は館とあすなる会が協働して運営する。あすなる会の中にジャンル別グループを新たに編成する。
- ③ 館負担軽減策・・・斎藤副会長
進級確認名簿受付、収集は新入生は館、2年以上は会が担当。班名簿は会が担当、保管は館。
- ④ ジャンル別グループ分けについて・・・大村副会長
新ジャンルは・郷土・歴史・自然、環境・趣味、教養・健康生活・安心安全・社会的課題の各グループ分けとする。(案段階)

3・班活動 11時20分～

本日の説明内容について各班にて意見交換及び個人感想、意見書の提出。

- 8班・・・イ) 本日の説明について全員が良く理解できた。
ロ) 館の負担軽減策の一つとして欠席者へのその都度郵送は不必要との意見。
(会員の自覚と主体的参画の見地から)
ハ) 会の運営についてはもっと簡素化しても良いのでは・・・
高齢化に向け担い手不足が気になる。

以上